

環研センターNEWS では、前号から「環境科学研究センター」でどんな調査や研究をしているのか紹介しております。今回は水環境部の調査研究について紹介します。

水環境部では、県内の公共用水域や地下水など水環境の常時監視のほか、工場や事業場の排水検査や廃棄物処分場の抜取り検査などを行っています。その中でも、今回は今年から重点的に取り組んでいる最上川中流部の水質悪化に関する調査について紹介します。

最上川中流部水質調査について

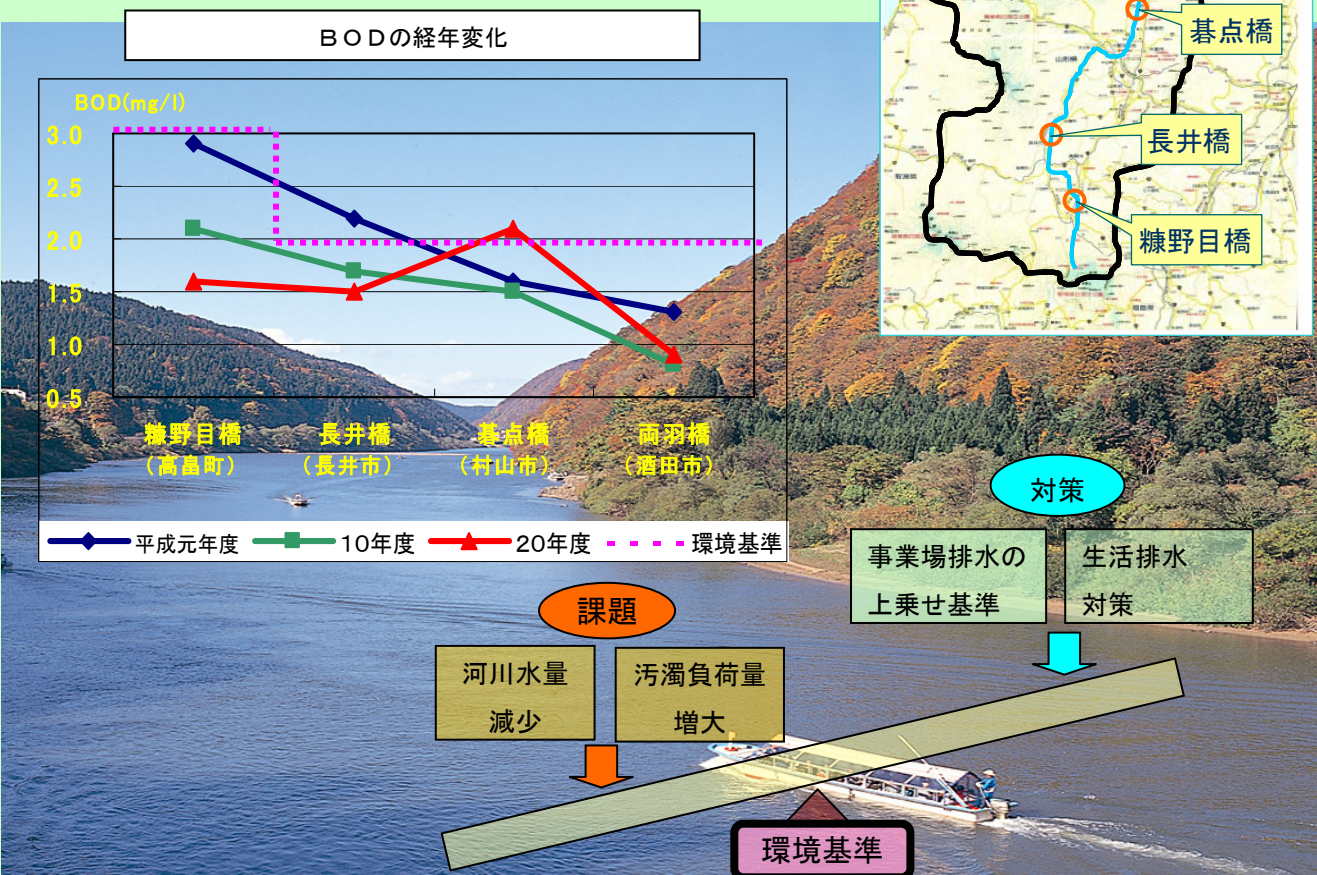
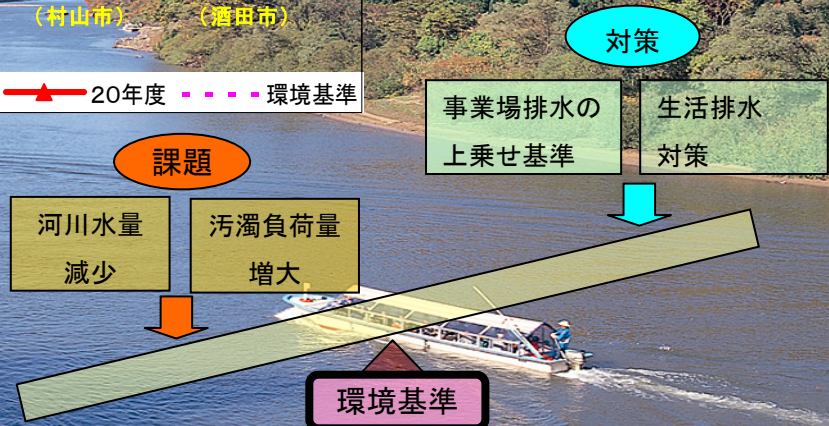
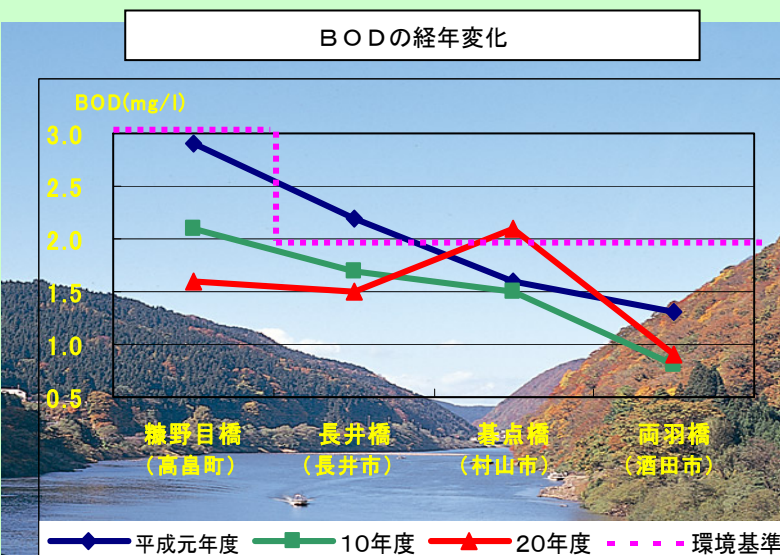
—水環境部—

最上川の水質（BOD^{*}）は、この20年間で上流部の糠野目橋や長井橋および下流部の両羽橋においては改善の傾向にありますが、中流部の基点橋においては近年悪化の傾向にあります。

山形県においては、生活排水対策（下水道や合併処理浄化槽の普及）や事業場排水対策（上乘せ基準や排水の自主管理）は確実に進んでいますが、中流部における汚濁負荷量の増加や河川水量の減少などが課題となっています。

このため、県では平成22年度～23年度に最上川中流部の水質悪化の原因を調査するため、最上川の長崎大橋（中山町）から堀内橋（舟形町）の区間において、流入河川も含めた水質、水量の細密調査を行うとともに、汚濁要因となる生活系、事業場系、農業系などの汚濁負荷量の調査も行っています。

※BOD（生物化学的酸素消費量）とは、水中の有機汚濁物が微生物によって分解されるときに必要な酸素の量をいい、河川の水質汚濁状態を示すのに用いられます。



夏休み親子科学教室を開催！

今年の夏も環境科学研究センターで「夏休み親子科学教室」を開催しました。今年は「紫いもで酸性雨を調べよう！」と「水をきれいにする方法について調べよう」の2教室で、合わせて20組49人の親子が実験を通して楽しみながら身近な環境について学びました。

「紫いもで酸性雨を調べよう！」(7月28日(水)開催)

紫いもの汁やパックテストで雨水や身近なもののpHを測定したほか、自動車の排ガスで水が酸性になることなどがわかりました。



あ、色が変わった！



パックテストでpHを調べる



車の排ガスで水が酸性になる？

「水をきれいにする方法について調べよう」(8月10日(火)開催)

池の水にミョウバンを溶かして濁りを集めて沈ませ、ペットボトルを利用した「砂ろ過装置」でろ過することにより水をきれいにすることができました！



池の水にミョウバンを入れて…



砂ろ過装置でろ過して…



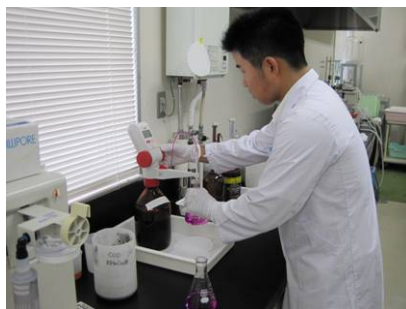
すごいきれいになった！



山形県立山形東高等学校 8月2日

科学部の生徒5名が訪れ、CODの測定を体験しました。

さすがに高校の科学部！手つきがプロっぽく、すぐにでも1人でできそうでした。



たてやまキッズクラブ 8月5日

小学校2年生の児童40名が訪れ、冷蔵庫に入れなくてもいいものについて、クイズ形式で学びました。

家でも実際にやってみてね。



山形県環境科学研究センター

村山市楯岡笛田三丁目2-1 TEL: 0237-52-3124

編集: 環境企画部 平成22年10月 発行